

発展を目指す企業家のための経営指南役

No. 591

平成22年 11月15日(月曜日)

社 外 重 役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル5F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪府北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

マーケティング

安価至上志向から消費意欲復活？ 2011年は「得するジオゲーム」

2010年のトレンドは「プチ贅沢」、2011年にブレイク必至の「得するジオゲーム」とは一体何か？と興味をそそられる、雑誌『日経トレンドィ』が選ぶ「2010ヒット商品ベスト30」が発表された。この調査は23年続き、「売れ行き」「新規性」「影響力」の3要素からヒットの度合いを評価し、ランク付けしたもの。今年の1位は「食べるラー油」で、2位に「3D映画」、3位に「スマートフォン」を選出。

同社は「不況と節約に疲れ、“プチ贅沢商品”が売れた年だった」と、長く続いた“安価至上志向”から消費意欲復活の兆しが見え始めたとして今年を振り返った。予想によれば、11年は消費市場に新たな「潮目」がやってくるという。

2010年、「身近なものくらいは少し贅沢気分」で…という消費者の心をくすぐった「食べるラー油」は桃屋、エスビー製品とも品薄状態に陥るほどのヒットとなり、同ブームは飲食店やコンビニエンスストアにも波及した。「ラー油の市場規模は7倍以上に拡大した」という理由で1位に選出された。「プチ贅沢」の象徴は携帯用電動歯ブラシ「ポケットドルツ」(6位)。

2011年については、1位“得するジオゲーム”、2位“モバ美(モバビュー)」、3位“スマホリンク家電”が流行るとのこと。来年の年賀状はiPhone、iPadで格安で作る「筆まめ」の最新版が登場するなど、市場創造性において不可欠な要素である、ITの進化はもう止めようがない。

税務会計

法人の黒字申告割合は過去最低！ 前年度比3.6ポイント減の25.5%

国税庁がこのほど発表した2009事務年度の法人税の申告実績によると、今年6月末現在の法人数は前年度に比べ0.1%、4千法人減の299万8千法人で、うち今年7月までの1年間に申告したのは、同0.7%、1万9千法人減の278万6千法人だった。

その申告所得金額は同10.9%(4兆1,564億円)減の33兆8,310億円、申告税額の総額も同10.1%(9,781億円)減の8兆7,296億円と、ともに1割程度減少した。

前年度から申告実績の集計対象期間を「4～3月決算ベース」(従来は「7～6月申告ベース」)に変更しているが、申告所得金額、申告税額ともに3年連続の減少となる。

この結果、法人の黒字申告割合は25.5%と、前年度比3.6ポイント減少しており、初めて30%を割り込んで過去最低となった前年度をさらに下回った。景気後退で製造業や卸売業を中心に企業業績が大きく悪化したことが要因とみられている。

法人の黒字申告割合は、過去最高だった1973年度(65.4%)の半分にも満たない低い数字が17年も続いている。黒字法人の申告所得金額も減少となったが、黒字申告1件あたりでは4,759万円で、前年度比2.3%の微増となった。一方、申告欠損金額は、ピークの2002年度(33兆116億円)に迫る勢いだった昨年度からは11.5%減の27兆3,632億円となった。赤字申告1件あたりの欠損金額は、同15.2%減の1,319万円だった。

今週のキーワード

得するジオゲーム

ジオゲームとはGPS(衛星利用測位システム)位置情報「ジオメディア」を活用したゲームのこと。これに店舗の割引クーポンを連動させたのが「得するジオゲーム」。位置情報を使った携帯クーポンサービス「イマナラ!」は、利用者が近くから1時間以内に来店すると30%オフなど、そのときだけ使える時限クーポン利用できる。現在ユーザー数は約50万人で加盟店舗は1万店。2位「モバビュー」は「モバイル・ビューティー家電」で、持ち運び可能なコテや美顔器をいう。